

コロナ禍 人の心の恐ろしさ

高校生 内田 健太 16 金沢市

今流行している新型コロナウイルス感染症ですが、僕が感じたのは、日々当たり前の生活の大切さです。

国の緊急事態宣言で外出が自粛され、僕の学校の入学式も中止になりました。さらに友人とも会って遊べない状況になりました。普段何げなく行われていたことが全然できなくなって、改めて今までの毎日が本当にありがたいことだったんだと感じ

ました。

新型コロナウイルスには、三つの顔があると言われていいます。第一は病気そのもの。第二は不安と恐れ。第三が嫌悪・偏見・差別なんだそうです。嫌悪・偏見・差別は、絶対にあってはならないことです。本当に恐れるべきはウイルスよりも人の心なのではないかとも感じます。

正しい知識を身につけ、きちんと予防に努め、新型コロナウイルスに正しく対応していければよいと思います。